

学位論文審査結果の要旨

学位申請者 氏名	シリカンヤ・チュンタナウオン Sirikanya Chungthanawong
審査委員	主査 鹿児島大学 教授 本村 浩之
	副査 鹿児島大学 教授 寺田 竜太
	副査 琉球大学 教授 立田 晴記
	副査 鹿児島大学 准教授 坂巻 祥孝
	副査 鹿児島大学 准教授 久米 元
審査協力者	印
題目	ハオコゼ科ナガハチオコゼ属魚類および近縁属の分類学的研究 Systematics of the waspfish genus <i>Neocentropogon</i> and related genera (Scorpaeniformes: Tetrarogidae)
<p>これまで包括的な分類学的研究がまったく行われていなかったハオコゼ科魚類 Tetrarogidae の分類学的再検討を行った。その結果、ツマジロオコゼ属 <i>Ablabys</i> Kaup 1873、<i>Centropogon</i> Günther 1860、<i>Coccotropsis</i> Barnard 1927、<i>Cottapistus</i> Bleeker 1876a、<i>Glyptauchen</i> Günther 1860、<i>Gymnapistes</i> Swainson 1839、<i>Liocranium</i> Ogilby 1903、ナガハチオコゼ属 <i>Neocentropogon</i> Matsubara 1943、<i>Neovespicula</i> Mandrytsa 2001、<i>Notesthes</i> Ogilby 1903、ハチオコゼ属 <i>Ocosia</i> Jordan and Starks 1904、ハオコゼ属 <i>Paracentropogon</i> Bleeker 1876b、<i>Pseudovespicula</i> Mandrytsa 2001、<i>Richardsonichthys</i> Smith 1958、ヤマヒメ属 <i>Snyderina</i> Jordan and Starks 1901、アゴヒゲオコゼ属 <i>Tetraroge</i> Günther 1860、および <i>Trichosomus</i> Swainson 1839 の17属に45有効種が確認された。<i>Trichosomus</i> (タイプ種：<i>Apistus trachinoides</i> Cuvier 1829) と <i>Vespacula</i> (タイプ種：<i>Prosopodasys gogorzae</i> Jordan and Seale 1905) は、これまでそれぞれ有効属として扱われていたが、<i>P. gogorzae</i> が <i>T. trachinoides</i> の新参異名であることが確認されたため、<i>Vespacula</i> も同様に <i>Trichosomus</i> の新参異名となることが明らかになった。</p>	

また、本研究ではオーストラリアと西太平洋からツマジロオコゼ属の2新種をそれぞれ *Ablabys pauciporus* と *Ablabys gymnothorax* として記載し、さらに、ハチオコゼ属とヤマヒメ属の2未記載種をそれぞれオーストラリアとフィリピンから確認した。

本研究で認められたハオコゼ科17属を形態的に再定義し、そのうち分類学的に最も混乱していたナガハチオコゼ属について分類学的再検討を行った。ナガハチオコゼ属に含まれる種についてはこれまでまったく研究が行われていなかったが、本研究の結果、ナガハチオコゼ属は体が埋没した円鱗でまばらに覆われること、口蓋歯があること、背鰭棘数が13-16であること、背鰭起部が眼上方に位置すること、腹鰭軟条数が5であること、胸鰭下方4軟条の鰭膜が深く切れ込むことによって特徴づけられ、*Neocentropogon aeglefinus* (Weber 1913) (フィリピンからオーストラリアに分布)、*N. affinis* (Lloyd 1909a) (東インド洋)、ナガハチオコゼ *N. japonicus* Matsubara 1943 (北西太平洋)、*N. mesedai* Klausowitz 1985 (紅海固有種)、*N. profundus* (Smith 1958) (南西インド洋)、およびヒレナガハチオコゼ *N. trimaculatus* Chan 1966 (反赤道分布を示し、東アジアとオーストラリアに分布) の6種が本属に含まれることが明らかになった。本研究では現存するすべてのタイプ標本とインド・西太平洋広域から得られた多数の一般標本に基づき、全種の再記載を行い、各種の分布域、識別的特徴、および成長に伴う形態変化を明らかにした。本研究ではナガハチオコゼ属の全種とハオコゼ科に含まれる各属の検索表をそれぞれ示した。

以上のように、本研究ではこれまで分類学的に混乱しており、世界の誰もが同定することができなかったハオコゼ科魚類を分布域広域から得られた膨大な一般標本とタイプ標本に基づき、分類学的検討を実施した。この結果、本科魚類の属の形態学的特徴が定義され、外部形態による正しい種同定が可能となった。この研究成果は魚類学のみならず、海洋生物学の基礎的知見として多大な貢献をすることが期待される。よって本論文は、学位論文として十分な価値があるものと判定した。